

令和7年度の重点課題

- ・児童の実態から、長座体前屈と50m走に課題がある。
- ・上体起こしは、「踵を拳一つ分上げる」ポイントを意識しないで取り組んでいる児童が見られる。
- ・50m走で、スタートの合図に素早く反応し、スピードに乗って50m走を走り切れない児童が見られる。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- ・ロング昼休憩の仲良し班遊びや学級遊びにおいて、鬼ごっこ遊び、ボール投げ遊びを行った。
- ・業前体育で縄跳び運動やラジオ体操を行った。
- ・体育科の授業で、様々な姿勢からスタートする運動を取り入れた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	22.43	17.00	23.71	45.43	46.71	9.74	151.00	26.14	53.00	第5学年	16.00	19.17	32.67	41.50	38.50	9.93	149.00	13.50	54.33

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	22.43	17.00	23.71	45.43	46.71	9.74	151.00	26.14	53.00	第5学年	16.00	19.17	32.67	41.50	38.50	9.93	149.00	13.50	54.33

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	71.43	28.57	0.00	0.00	第5学年	50.00	33.33	16.67	0.00

学校独自の意識調査

第1学年から第6学年全児童に「運動やスポーツが好きかどうか」のアンケートを実施した。アンケート結果は、運動が好きかどうかについて肯定的な回答をしている児童の割合は全体の90.4%であった。否定的な回答している児童の割合は全体の9.6%であり、運動が好きな児童が大半を占めるものの、運動に苦手意識をもつ児童も見られる現状であった。

重点課題

情意面での課題

男女ともに、運動やスポーツをすることが好きな児童の割合が8割を超えているものの、女子の中の一割は、運動嫌いな様子が見られており、どの児童も意欲的というわけではない。

体力面での課題

男子は、上体起こし・長座体前屈・50m走の3つは県平均や全国平均よりも低い記録を出しており、特に柔軟性に関しては大きく下回っていた。(県平均から約9.5ポイント、全国平均から約10ポイント下回った。)
女子は、長座体前屈、50m走の2種目が県平均や全国平均を下回った。その中でも、男子と同じく柔軟性が特に課題として挙げられる。(県平均から約5ポイント、全国平均から約6ポイント下回った。)

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・男女ともに50m走が平均を下回っているため、体育科の授業で走力を鍛える運動を取り入れる。(鬼ごっこ、リレー、ウォーミングアップのダッシュ等)
- ・柔軟は大きく下回っているため、体育の時間の始めに、ストレッチをやる時間を設けて普段の体育でも体を伸ばすことの重要性に気付かせる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・業前体育の内容を見直し、現在行っている縄跳び運動以外の動き(例えば、ゆりかごやプランク等の腹筋に刺激がいく運動や、なかよし班での鬼ごっこ、柔軟体操等)を取り入れて、多種多様な動きができるようにする。
- ・定期的に、全児童を対象とした「運動の意識調査」を実施し、実力を把握する。
- ・休憩時間にも運動の楽しさに気付けるような、声掛け・活動を行う。
- ・保健体育委員会が中心となり、楽しく外遊びができるような方法を画策する。

令和8年度の
重点目標値

- ・運動やスポーツをするのが好きな児童の割合を95%以上にする。
- ・県平均や全国平均を下回っている種目の中で、とくに「長座体前屈」「50m走」の記録が前回よりも上回るようにする。
- ・毎日運動する児童の割合を全体の90%以上にする。